

北光

第 145 号
平成21年11月25日



北光会 (<http://www.hokkokai.com>)

秋田鉱山専門学校
秋田大学鉱山学部 同窓会
秋田大学工学資源学部

秋田大学工学資源学部は、明治44年(1911年)に秋田鉱山専門学校として新入生を迎えて以来、平成23年(2011年)に創立100周年を迎えることになります。

目 次

巻頭言	小 松 文 雄	1
会長便り	菊 地 芳 朗	2
秋田大学国際資源学教育研究センターの設立	水 田 敏 夫	3
学長連続講演会開催報告	佐々木 厚	4
秋田県内高等学校と工学資源学部との懇談会報告	鈴 木 雅 史	5
好評だった「秋田大学子ども見学デー」		6
	福本倫久・麻生節夫・神谷 修・小原 仁	
平成21年度大学説明会・オープンキャンパスについて	坪 井 ひろみ	9
オープンキャンパス「頑張ったで賞」授与式行われる		10
「頑張ったで賞」を受賞して		10
研究最前線	久保田広志・山本 良之	16
「北光寮」特集号への投稿のお願い		18
「北光寮」閉鎖のいきさつと今後の展開	神 谷 修	19
第6回素材物性学国際会議(ICMR2009AKITA)の開催報告		
	小 川 信 明	21
学部創立100周年記念事業報告・寄附者御芳名		22
平成21年度第1回支部長会報告		25
北から南から		26
母校便り		34
事務局から		34
訃報		35
編集後記		36

表紙写真説明：安の滙（秋田県北秋田市阿仁）

日本の滙百選にも選ばれている名瀑です。紅葉の頃は特に見応えがあります。

撮 影：杉山 渉 (MH2)

卷頭言

新時代に望む

秋田支部長 小松文雄 (BS29M)



今年の秋田支部総会で団らずも支部長に推薦されましたが、以前から集団の長には長老とか年功序列で就任すると言った風習は遠ざかり、実践力のある人物が登用されるのが政治・経済・地方都市の長に至るまで通例となって来ている様に感じられます。

自民党の大敗が顕著な例で権力に胡坐をかくのは昔とは変わりつつある時代なので、最近からは秋田支部でも最高齢者は後期高齢者の75歳を限度と主張してきましたが、78歳を迎えた自分に矛先が向けられたのは全く誤算でした。但し2年を限度として次は全国的に広まりつつある北光会各支部に習って60年代に変われるよう今回の役員から現職も含めて選任した所です。

秋田支部会員は全国の約23%に当る約4,300人となっておりますが、実際に居住している会員は65%に当る2,800人位で、特に若い会員が住所の変更をやらずに他都市へ移動しているものと考えられるので、秋田支部の会費納入率が低い最大の要因となっている様に思われます。

一方、会費納入率100%の職場は秋田市役所の約100名で30年前から続いておりますが、他の職場でも実施する様になって来ているので、全国に向けてのPRも含め昨年の北光会総会に於いて団体としては初めての表彰を受けました。

今年度の支部事業としての取り組みは、長年懸案となっていました地区部会の充実です。現在設置済みの地区部会は3地区のみで、その他の地区には部会がありません。学部の100周年までに全県の各地区に部会を立ち上げ、すべての支部会員がいずれかの部会に所属して支部活動に参加できるようにするために、支部役員と共に各地区を巡回し、その実現に努力しており

ます。

最近の大学生の動向に可成りの変化がある様に見受けられます。大学の傍にコミュニティセンターがあり、その運営を市から委任されているので学生との接触の機会が多くなっておりますが、学内の指導方針も地域に溶け込んで一体化を進めているらしく、一般の会員とのサークル活動やホームページの立ち上げ、或いはコミセン祭りに出演する等、地域の事業にも積極的に協力する様に変わってきております。

また、スポーツの面でも大学コートを借用し30年前から早朝テニス教室を開催し現在に至っておりますが、部員との親善試合や交流会は勿論の事、県市主催の大会にも積極的に参加して好成績を挙げる様になって來ました。

更に、地元大学への評価にも変化が見られ、今年度の医学部への入学者数は一校から25人と未だかつてない傾向だと病院関係者や両親共々喜んでいる状況ですし、何と言っても学内に「産学連携推進機構」が設立され、毎年100件以上の相談や共同開発に貢献しているのは地域と大学の一体化を物語る顕著な例ではないでしょうか。

デジタル放送化と共に2年後に控えた100周年記念事業への寄附金は、景気のどん底にありながら会員の納入率は目標までもう一歩と言う所ですが、秋田支部内（中央部会）ではメールのある会員への連絡はすべてメールを利用して経費の節約を図っておりますので、これらの機能を活用して会員同士の状況が解り易い関係にある横割の各年次毎にメール等を利用した呼び掛け運動は如何でしょうか。年次代表にも声を掛け一度試して見ようと思っております。

秋田は何と言っても美人・美酒・資源（食べ物も含め）の国と言われておりますので、今後とも地域アカデミーを推進しながら地域と一体となった大学の発展に寄与すると共に、年々増加する北光会会員には現代社会に即応した会に進展するよう望んで止みません。

会長便り

創立100周年と北光会の現状

菊地芳朗 (GS34)



2年ぶりに日本列島に上陸した大型台風18号が本州を縦断致しました。皆様如何であったでしょうか。被害に遭われました会員の皆様方には心からお見舞い申し上げます。

さて、創立100周年記念の募金ですが、10月31

日現在、3,497件で総額1億4,412万円のご芳志を賜り衷心よりお礼申し上げます。その内、北光会は2,962名7,314万円（創立75周年記念の集計方法に準ずる）であります。目標額1億円の約7割となっております。募金期間は2年を切りました。なお一層のご支援をお願い致します。

8月の「北光」第144号に創立100周年記念寄付者ご芳名を掲載し、新しい募金趣意書と振込用紙を同封致しました。これについてご芳志を頂いた会員から質問がありました。それは「既に寄付をしているのに何故また振込用紙が送られてくるのか」とのお叱りであります。これについては「北光」第144号の41ページに申し述べております。ご芳志を頂いていない方だけに振込用紙を入れる作業は時間と費用が掛かります。一方で分割納付の方は振込用紙を必要としております。この辺の事情をお察し頂き、ご理解賜りますようお願い致します。

募金目標で企業は1億5,000万円になっておりますが、今現在、146社から4,353万円のご芳志を頂いております。

昨今の経済情勢のこともありますが、お願いの訪問も進んでおらないのが現状です。「北光」第142号の「会長便り」で申し上げておりますように私の経験からして、やはり現職の先生方がお願いに行くのが一番良いのでは、と思っております。10月の学科長会議の後に、学科長の

先生方に出席して頂き募金委員会の学部内専門委員会を開いてお願ひしたところであります。先生方の企業訪問で会員諸氏にもご協力をお願ひする場合もあるかと思います。その節は宜しくお願ひ致します。

一方北光会には会費納入率の向上があります。春から会費の納入をコンビニなどで出来るように致しました。年間を通じて見なければなりませんが、今のところ3,000円（1年分）の振込件数は昨年より増えていますが、12,000円（5年分）の振込件数は減少しております。12,000円（5年分）の振込方法などについて、「北光」第144号に事務局からの「年会費納入のお願い」に説明されております。一読されますようお願い致します。

各支部総会に出席しておりますが、平成年度の卒業生の出席が徐々にではありますが増えてきているように見受けられます。各支部では県単位の部会を作り活動しておりますが、更に一層のご努力をお願い致します。

今年は秋田大学創立60周年を迎えました。昭和24年5月に秋田鉱山専門学校、秋田師範学校、秋田青年師範学校を包括して新制大学として発足致しました。

諸先輩の中には、当時の「秋田鉱山大学」昇格運動を思い出されるのではないでしょうか。11月15日(日)に秋田ビューホテルで記念講演会・記念式典・記念祝賀会が執り行われました。

これから年末を迎ますが、新型インフルエンザが大流行との報道があります。会員の皆様におかれましては、何卒ご自愛賜りますようお祈り申し上げ、お元気でよいお年をお迎えください。

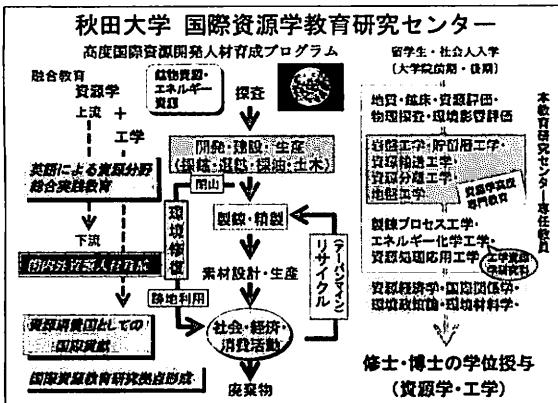
北光会は皆様の会費で維持されております。会費納入率の向上にご協力下さい。

秋田大学国際資源学教育研究センターの設立

国際資源学教育研究センター長 水田敏夫

国際資源学教育研究センターは、平成21年10月1日に、国際的視野を持つ資源人材の養成のための教育研究拠点となるべく、秋田大学の全学組織として設立されました。このたび、国際資源学教育研究センター長を拝命いたしました。本センターの設立の目的、経緯、現在の動向などを、ご報告させて頂きます。

近年、鉱物資源やエネルギー資源の需要が世界的に高まり、資源価格が高騰し、特に産業のビタミンを称されるレアメタルの資源の確保が難しくなっています。また、世界の持続的成長への貢献としては、アジア・中南米・アフリカ等の新興国・資源国と関係充実や、資源安全保障の強化が求められています。本センターでは、資源教育と研究の拠点を目指し、資源保有国からの資源系大学・研究所等の設立や技術協力・人材養成の要請への対応、さらには、国内の資源系大学生や大学院生、我国や資源保有国の資源関連企業からの研修生や研究生の集中的に教育、実践的かつ高度な資源開発人材養成、国際感覚やマネージメント能力を備えた資源開発人材の養成と国際資源人材ネットワークの構築等を目指しています。



新設のセンターの最初の目標としては、ボツワナに2011年3月に開校予定のボツワナ第二国立大学であるボツワナ国際科学技術大学の設立への協力にあります。

ボツワナ国は、アフリカ南部の内陸に位置する共和国です。同国の南を、2010年ワールドカップ開催国である南アフリカ共和国（以下南ア）、東をジンバブエ、西と北をナミビアと世界的にも豊富な地下資源に恵まれた国々に囲まれています。特に、南アは、突出して産出量の多いダイヤモンド、金、プラチナ、クロム、ウラン、レアメタルなど、鉱物資源に恵まれた国です。ボツワナは、その南アと地質学的に多くの共通点をもち、同じく資源にめぐまれた国で

す。近年、ダイヤモンドの産出が世界一を記録し、このダイヤモンド資源だけで、輸出総額の80%～90%，ボツワナ国の歳入の約半分を占めています。その他の鉱物資源としては、銅やニッケル、マンガン、石炭などがあります。この資源国ボツワナの自立した資源技術者、地質学研究者などの育成が望まれています。この育成の観点から、衛星を使い地下資源を調査・分析するリモートセンシング技術に通じた人材の育成をめざし、日本のJOGMEC（独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構）の全面協力のもと、「JOGMECボツワナ共和国・地質リモートセンシングセンター」が開設され活発な教育・研究が始まっています。

ボツワナ第二国立大学として設立すべく、ボツワナ国際科学技術大学（略称 BIUST）が計画され、第一期工事が始まっています。資源分野を中心として、学生数600人で2011年3月に開校し、数年後に学生数6000人規模の大学にする計画です。学生も広く南部アフリカ全域から募集する予定です。その BIUST の大学設立計画に、資源学教育に実績をもつ、当秋田大学工学資源学部に協力の依頼がありました。奇しくも2011年は、秋田大学および工学資源学部としても、秋田鉱山専門学校の資源教育機関が設立されて100年の節目の年にもなります。学部としても、積極的に協力していく方針です。BIUST への協力の第一歩として、教員の短期相互派遣、2名の派遣大学院生の受け入れ等を開始しています。

国際資源学教育研究センターは秋田大学の全学組織ではありますが、工学資源学部との密接な関係を有しております。開闢100年の歴史の中、多くの卒業生の方々が、資源関連教育・研究分野を中心に活躍されています。同学部の地球資源学科、環境応用化学科や同大学院資源学関連の各専攻とも連携して、鉱物資源やエネルギー資源分野の教育研究拠点を目指し、一層の充実を図ってまいりたいと考えています。

秋田大学の先輩方や日本の研究者・技術者たちが培ってきた鉱山学の知識とこれまでの100年の伝統を、ボツワナ国際科学技術大学で、これから教育を受けようとする若き学生諸君に伝える必要があると考えています。そして、その技術と知識をボツワナの大地に根付かせるため、そして、これからの新たな100年の発展を支えるため、これまでの鉱物資源の教育研究分野での経験を活かし、微力ではありますが全力を尽くしたいと思います。

皆様におかれましては、本センターへのご協力・ご支援のほど、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

年会費について

◎「北光」145号に同封の払込用紙は**10月20日**現在の年会費納入状況で作成・印刷されたものです。「北光」の発行日は11月25日で、払込用紙が印刷された日とは約1ヶ月余のズレがあり、この間にご納入いただいた方には行き違いが生じますがご容赦くださいますようお願いいたします。

また、金額を訂正して払込された方、支払期限の過ぎた払込用紙を使用された方は、北光会に入金になるまで多少日数を要します。

以上の理由で、年会費を納入された方でも払込用紙が送付される場合がありますので、ご不明の点は、北光会事務室までお問い合わせ下さい。

◎6,000円(2年分)、9,000円(3年分)、12,000円(5年分)ご納入の方は金額を訂正の上、郵

便局で払込をお願いいたします。また、払込用紙に記載されている「支払期限」が過ぎた場合でも郵便局でお取り扱いができますが、トラブルを避けるためにも早めのご納入をお願いいたします。

◎年会費納入済み年度は「北光」送付封筒の宛名ラベル(バーコードの左上)に記載されております。21となっている場合「平成21年度分まで納入済」を表します。

北光会へのお問い合わせ、住所変更等のご連絡は下記までお願いいたします。

010-8502
秋田市手形学園町1-1
秋田大学工学資源学部内
北光会
TEL・FAX 018-835-9822
TEL 018-889-2317
E-mail : info@hokkokai.com

訃報

赤上陽出男先生ご逝去

秋田大学名誉教授、赤上 陽出男先生(ES22北光会顧問、元北光会副会長)は、平成21年10月3日ご逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

柏谷景昌先生ご逝去

元燃料化学科・資源化学工学科講師、柏谷 景昌先生(LS10)は平成21年9月5日ご逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

(北光144号発行後連絡を受けた方々)連絡先については事務局にお問い合わせ下さい。

科・年	氏名	死亡年月日	OS20	野瀬泰邦	奈良県	H21年8月6日
BS10	野中正二	長崎県 H21年8月31日	HS22	小笠原義治	和歌山県	H20年8月
BS14	奥谷實	大阪府 H21年7月20日	HS22	渋谷熟	千葉県	H21年7月12日
LS14	奈良富雄	秋田県 H20年3月	OS22	品田芳二郎	千葉県	H21年3月18日
ZS17	金澤文一	東京都 H21年6月3日	FS23	平賀謙次	千葉県	H21年8月21日
BS18	上田正幸	大阪府 H21年8月14日	HS23	小田島徹	北海道	H21年8月1日
BS18	山上亥三郎	北海道 H21年6月24日	HS23	矢野二郎	大分県	H17年8月22日
KS18	越後谷熟	秋田県 H21年9月17日	KS23	永田秀	山口県	H21年7月6日
MS18	安藤春雄	新潟県 H21年3月1日	OS23	三浦昇二郎	秋田県	H20年8月17日
KS20	佐藤和夫	秋田県 H20年6月8日	BS24	中村鎌三	秋田県	H19年12月6日

KS24	能 登 至	秋田県	H20年3月5日	MS36	大 月 勝 視	茨城県	H21年4月14日
KS24	柴 田 芳二郎	愛知県	H21年6月14日	FS37	高 橋 靖 行	千葉県	H19年3月18日
BS29M	後 藤 賢	神奈川県	H20年4月4日	FS40	梁 田 研 郎	神奈川県	H21年10月30日
ES29	眞 崎 隆 郎	千葉県	H21年7月26日	KS49	渡 辺 滋 人	長野県	H20年10月23日
ES30	石郷岡 克 己	埼玉県	H21年7月29日	KS57	小 手 川 泰 弘	大分県	
MS33	清 沢 陸 治	東京都	H21年6月22日	HH3	伊 藤 成 己	秋田県	
HS36	加賀谷 直 躬	東京都	H20年1月1日	KH5	柳 沢 憲 孝	埼玉県	H21年
HS36	高 杉 志 朗	新潟県	H21年10月21日				

一編集後記

先日、国連で鳩山首相が「CO₂排出量を25%削減する」という演説をおこなって、多くの国々から、拍手喝采を得ていました。日本の首相が国際舞台で評価される姿を見たのは、僕は初めてかも知れません。

石油・ガス・石炭などの燃料の使用量を削減し、これら燃料への依存度を下げるることは、我々の社会が自立的に永続するためには良いことだと思います。昨年のようなオイルショックを経験すると、せめて我家の灯油の消費量だけでも、25%削減したいと思います。

でも、僕の周りでは「省エネはわかるけど、炭酸ガスによる地球温暖化は違うんじゃないの?」という声が、よく聞かれます。「温暖化ガスなら炭酸ガスより水蒸気でしょう」なるほど、雲の少ない日の翌日は、放射冷却で冷え込みますものね。実際、北極の氷の面積は増えているというデータもありますし、今は太陽の黒点が少なく太陽活動が低調で、これから地球は寒冷化するという天文学者もいます。

そういうえば、今は氷河時代(第四紀)で、最後のヴュルム氷期が1万年前に終わって、現在は間氷期にあたるんですよね。今から6千年ほど前の縄文時代は、現代より平均気温が1~2℃高くて、海水面が3~5m高かったようです。縄文遺跡は高台に多く、三内丸山遺跡が青森にあるということが、縄文時代の温暖化を示しています。じゃあ、縄文時代が温暖化のピークなら、次はどうなるのか? ミランコビッチ理論によると、最も短い気候変動の周期は、約2万年だそうです。ひょっとして、もう大きな周期での寒冷化が進みつつあるのでしょうか?

とてつもなく大規模な地球の気候変動を、人

類が心配しコントロールしようとしても、仕方が無いように思えます。それよりも、永続可能な社会の構築のために、自然環境に負荷をあまりかけないよう、ゴミの排出と燃料の使用量を出来るだけ削減するという考え方で、良いのではないかと思います。これって、良い鶴山経営の基本のような気がしますが……

今井 忠男 (BS63)

発行所 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
秋田大学工学資源学部 北光会

URL: <http://www.hokkokai.com>
E-mail: info@hokkokai.com
電話 018 (835) 9822
018 (889) 2317
FAX 018 (835) 9822
振替 02510-5-1231

発行人 及川 洋 (CS47)

編集委員 大友 崇穂 (KS47), 今井 忠男 (BS63)
平元 和彦 (MH3), 山下 剛司 (RH4)
宮崎 敏夫 (MH8), 高橋 育 (EH10)
福田 誠 (EH14), 佐藤 菜花 (WH18B)
齋藤 憲寿 (CH18)

北光会事務局

事務局長 及川 洋 (CS47)
庶務担当理事 麻生 節夫 (HS52)
会計担当理事 鈴木 雅史 (ES60)
ホームページ担当理事 横山 洋之 (DH1)
コンピュータ担当理事 玉本 英夫

事務室 遠藤 福子, 佐々木 静子
印刷所 秋田活版印刷株式会社

北光会グッズのご案内



『北光会ネクタイ』

青とエンジの2色。シルク100%でネクタイの下部に
北光会のマークが織り込まれております。

販売価格：1本4,200円（郵送の場合は4,500円）



『北光会ネクタイピン』

鉱専時代からの校章をデザインした七宝焼き風のネクタイピン。

販売価格：1個3,500円（郵送の場合は3,700円）



『北光会の旗(兼風呂敷)』

-ダイヤモンドのごとき固い絆を旗頭に-

販売価格：2,000円（送料北光会負担）

お申し込み、お問い合わせは下記まで。
北光会事務局 TEL・FAX 018-835-9822
E-mail:info@hokkokai.com



横浜金属株式会社

終わりのない鉱脈は、都市にある。

純銀

999.9

Gold Silver Platinum Palladium Rhodium Ruthenium

- 社団法人日本金地金流通協会正会員
- L.M.E.(ロンドン金属取引所)銀地金公認ブランド
- 東京工業品取引所 銀地金受渡供用品指定ブランド
- 東京工業品取引所 銀地金指定鑑定業者
- 日本工業規格表示許可工場(銀地金)
- ISO9001認証登録(横浜金属株式会社)
- ISO14001認証登録(横浜金属商事株式会社)
- ISO9002認証登録(裕昌金属工業株式会社)
- 社団法人日本経済団体連合会会員(横浜金属株式会社)

貴金属 精製・精鍊

貴金属 歯科材精製・材料販売

貴金属 工業材料

貴金属 宝飾品加工販売



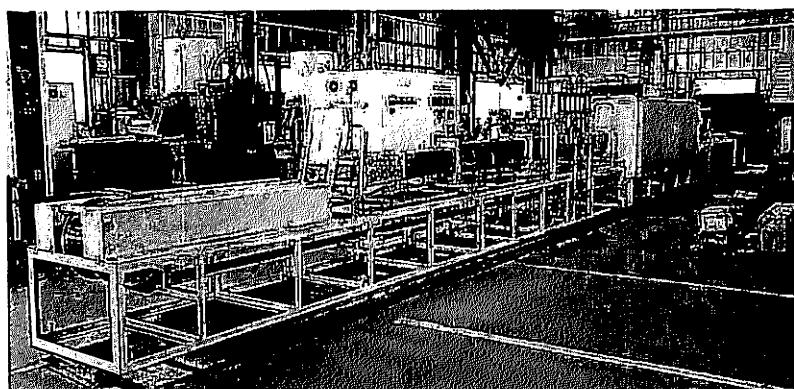
横浜金属グループ

横浜金属商事・JCY・裕昌金属工業(韓国)

本社/〒229-1132 神奈川県相模原市橋本台3-5-2 Tel 042(773)4411 Fax 042(773)4775
<http://www.yk-metal.com>

ステンレスの光輝焼鈍・硬化処理

精密鍛造の光輝球状化焼鈍



株式会社 サーマル

〒173-0014 東京都板橋区大山東町38-8

Tel.03-3962-4011 Fax.03-3963-0694

URL <http://www.e-thermal.co.jp> E-mail thermal1@sepia.ocn.ne.jp